

KSN 通信 VOL. 83

こんにちは。いつも弊社をご利用いただき、誠にありがとうございます。

3 月も半ばを過ぎると、桜の花が色づき始めて春の息吹が感じられます。そしてこの季節になると、お花見を待ちわびる人も多いのではないのでしょうか。日本独自の風習である花見の歴史は古く、奈良時代の貴族が行った行事が起源だといわれています。このころは梅の花が鑑賞されていましたが、平安時代になると桜の花に代わってきたようです。今のように一般の人々の間でも花見が親しまれるようになったきっかけは、豊臣秀吉が催した「醍醐の花見」だといわれています。醍醐寺の周辺に 700 本もの桜を移植し、盛大に行われたこの花見では、参加した人数も 1,300 人にも及んだとか。この花見の豪華絢爛な様が噂話となり、庶民の間でも「花見」が広まるきっかけとなったのだそうです。



■ KSN の環境活動

■ 堺第 7-3 区で「第 12 回共生の森植樹祭」が開催されました

去る 3 月 7 日（土）、堺第 7-3 区埋立地にて「第 12 回共生の森植樹祭」が開催されました。

今回で 12 回目となりますこの森づくり活動の記念植樹に約 600 人の方々に参加され、弊社も及ばずながらお手伝いさせていただきました。当日はあいにくの曇り空で、昼頃から雨が降ってきたため、植樹作業はお昼までとなりましたが、1,590 本の苗木を植樹できました。今後の生育が楽しみです。



植樹前の様子。苗木を植樹するために必要な腐葉土等が準備されています。



穴を掘った後の土と腐葉土を混ぜ合わせ、土づくりをしてから植えていきます。

■ 環境ニュース

■ 「第 1 回世界適応ネットワーク(GAN)フォーラム」開催結果を公表

環境省より、3月6日、7日の2日間にわたりパナマシティにおいて開催された「第1回世界適応ネットワーク(GAN)フォーラム」の開催結果が公表されました。GANは世界における気候変動への適応に関する知見共有を目的とした、国連環境計画(UNEP)提唱のネットワークです。GANの地域ネットワークは、アジア太平洋地域「アジア太平洋適応ネットワーク(APAN)」、中南米・カリブ地域「技術移転と気候変動行動ゲートウェイ(REGATTA)」、アフリカ地域「アフリカ適応知見ネットワーク(AAKNet)」、西アジア地域「西アジア地域気候変動ネットワーク(WARN-CC)」で構成されています。フォーラムには約30か国から政策決定者、実務者、研究者等合計約100名が出席し、GANが地域を越えた知見共有をし、国際的な他の取り組みやネットワークと有機的に連携していくための議論が行われた結果、GANが適応分野での経験と知見を共有する最適な仕組みであるとの考え方が共有されました。また、日本を含む各国の適応計画策定に関する成功事例や障害等が議論されたほか、適応技術や脆弱性評価の重要性が再度確認され、途上国への技術開発や技術移転を目的とする気候技術センター・ネットワーク(CTCN)やUNEP/WMP/UNESCOによる気候変動に対する脆弱性、影響、適応に関する研究プログラム(PROVIA)との連携の重要性が議論されました。

■ 3月の受入量割合

※総受入量に対する一般廃棄物・産業廃棄物の割合を示す。

一般廃棄物 58.1% 産業廃棄物 41.9% (H27.3.1~30)

発行元：株式会社関西再資源ネットワーク

〒592-8331

大阪府堺市西区築港新町4丁2番5

TEL：072-320-9001（代表）

FAX：072-320-9004